

マタイ 25

神の恵みの 派遣労働者

マタイ福音書9章27～38節 盲人の癒やし 啞者の悪霊追い出し

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. 盲人の癒やし 9:27～19

II. 口のきけない人の癒やし

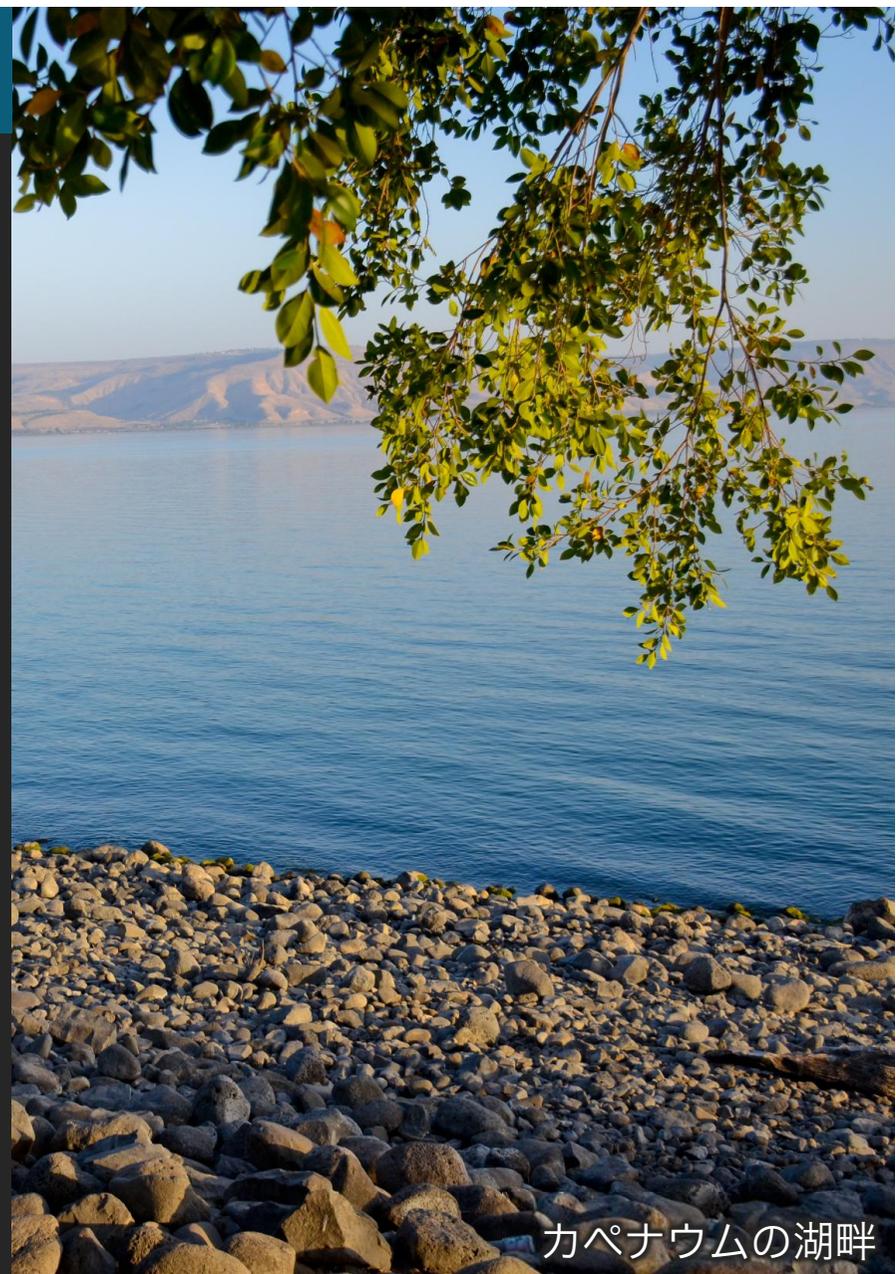
9:20～23

III. 拡大するメシアの宣教

9:24～26

IV. まとめと適用

神の恵みの派遣労働者として





0. イントロダクション

カペナウムの再現図

メシアの生涯

宣教

→ 拒絶

→ 弟子訓練

→ 十字架へ

メシアによる
メシアの証明

宣教開始

弟子の召命

荒野の誘惑

バプテスマ

メシア的奇跡

安息日(律法解釈)論争

ベルゼブル論争

たとえ話

五千人の食事

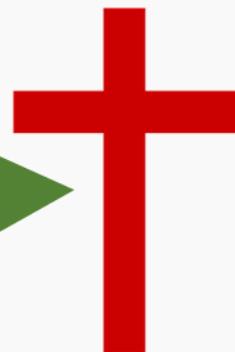
ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐



メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル
(指導者)

① 観察

② 審問

③ 審判

ベルゼブル論争

バプテスマ

荒野の誘惑

弟子の召命

宣教開始



メシア的奇跡

安息日(律法解釈)論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

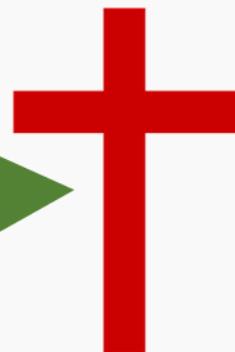
山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐

紀元70年
エルサレム陥落





Ⅰ. 盲人の癒し

マタイ福音書9章27～31節

ガリラヤ湖畔

本編 二人の盲人 マタイ9:27

イエスがそこから進んで行くと、目の見えない二人の人が、「**ダビデの子***よ、私たちをあわれんでください」と叫びながらついて来た。

*メシアの呼称の一つ

■ レビ族の盲人は、神殿の奉仕は不可。

■ 律法では、盲人は保護すべき対象。

『「目の見えない人を道に迷わせる者は のろわれる。」民はみな、アーメンと言いなさい。申 27:18』



本編 二人の盲人の信仰 マタイ9:28

イエスが家*に入られると、その人たちがみもとに来た。イエスが、「わたしにそれができると信じるのか」と言われると、彼らは「はい、主よ」と言った。

*カペナウムのペテロの家？！

➡公衆の面前での癒しを避けた？！

■メシア預言 イザヤ書35:5他

「そのとき、目の見えない者の目は開かれ、
耳の聞こえない者の耳は開けられる。」



本編 信仰のとおりに 9:29～30

そこでイエスは彼らの目にさわって、
「あなたがたの信仰*のとおりになれ」と言われた。

すると、彼らの目が開いた。

*メシアは、盲人の目を開かれる。

イエスは、預言されたメシアである。

■ポイントは、

預言された**神の約束**を信じたこと。

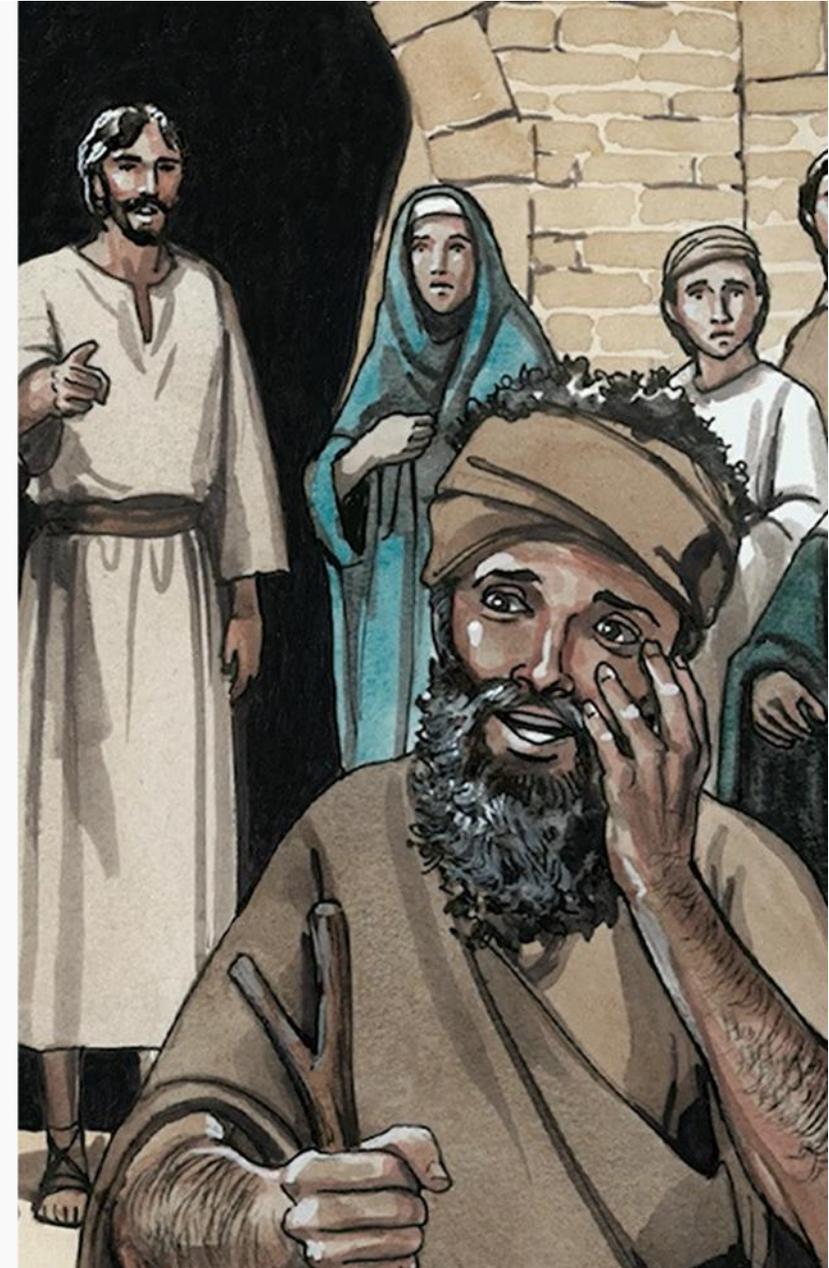


本編 メシアの厳命 マタイ9:30～31

イエスは彼らに厳しく命じて、「だれにも知られないように*気をつけなさい」と言われた。

しかし、彼らは出て行って、その地方全体にイエスのことを言い広めた。

*なぜここまで厳しく禁じられた？





II. 口のきけない人の癒し

マタイ福音書9章32～34節

ガリラヤ湖畔

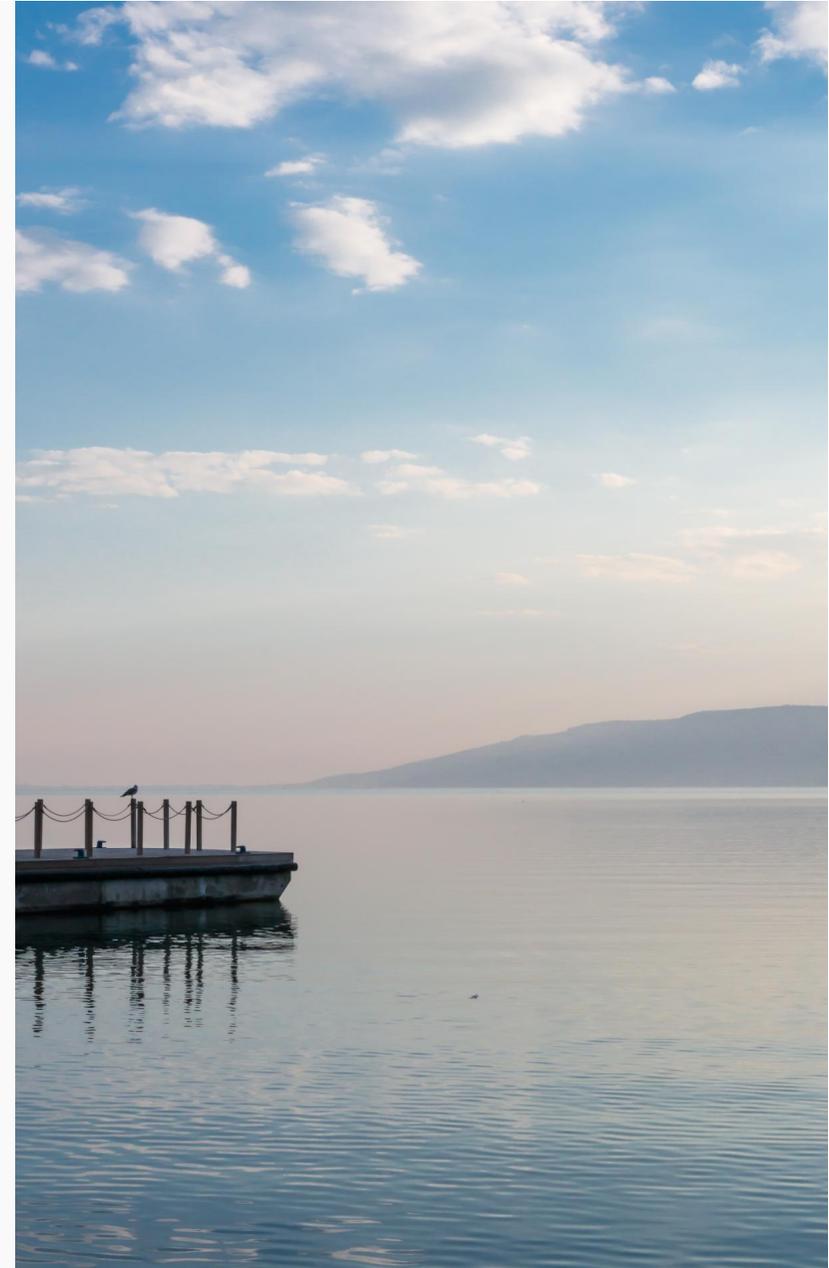
本編 悪霊憑きの啞者 マタイ9:32

その人たちが出て行くと*、見よ、人々はイエスのもとに、悪霊につかれて口のきけない人*を連れて来た。

*入れ替わりで連れて来られた!!

*悪霊の追い出しには、悪霊の名を聞き出すことが重要とされた。

➡口がきけないのでは聞き出せない!!



本編 悪霊の追い出し マタイ9:33

悪霊が追い出されると、口のきけない人がものを言うようになった。群衆は驚いて、「こんなことはイスラエルで、いまだかつて起こったことがない」と言った。

■ 前代未聞の奇跡に、人々は驚愕

➡ メシア以外には考えられない!!



本編 認知の歪み マタイ9:34

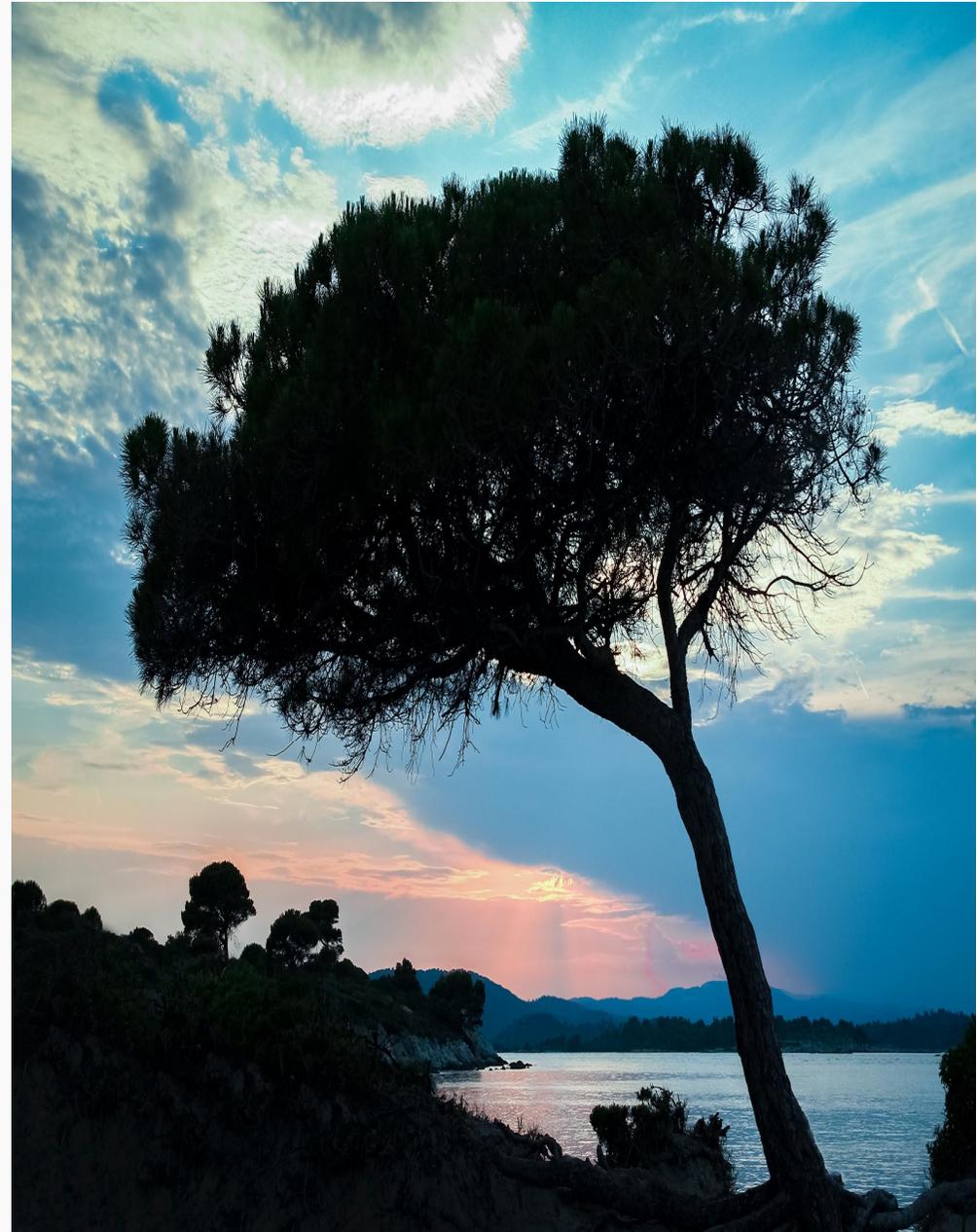
しかし、パリサイ人たち*は、「彼は悪霊どものかしらによって悪霊どもを追い出しているのだ*」と言った。

*議会から派遣された調査団?!

*この時点での見解

➡後に公式見解に(マタイ12:24)

**どんな奇跡も
拒む者には無意味!!**



悪霊の活動時期

「悪霊」という訳語の回数

旧約

2回

新約

77回

福音書

65回

使徒の働き

4回

使徒の手紙

2回

黙示録

3回



Ⅲ. 拡大するメシアの宣教

マタイ福音書9章35～38節

ガリラヤ地方

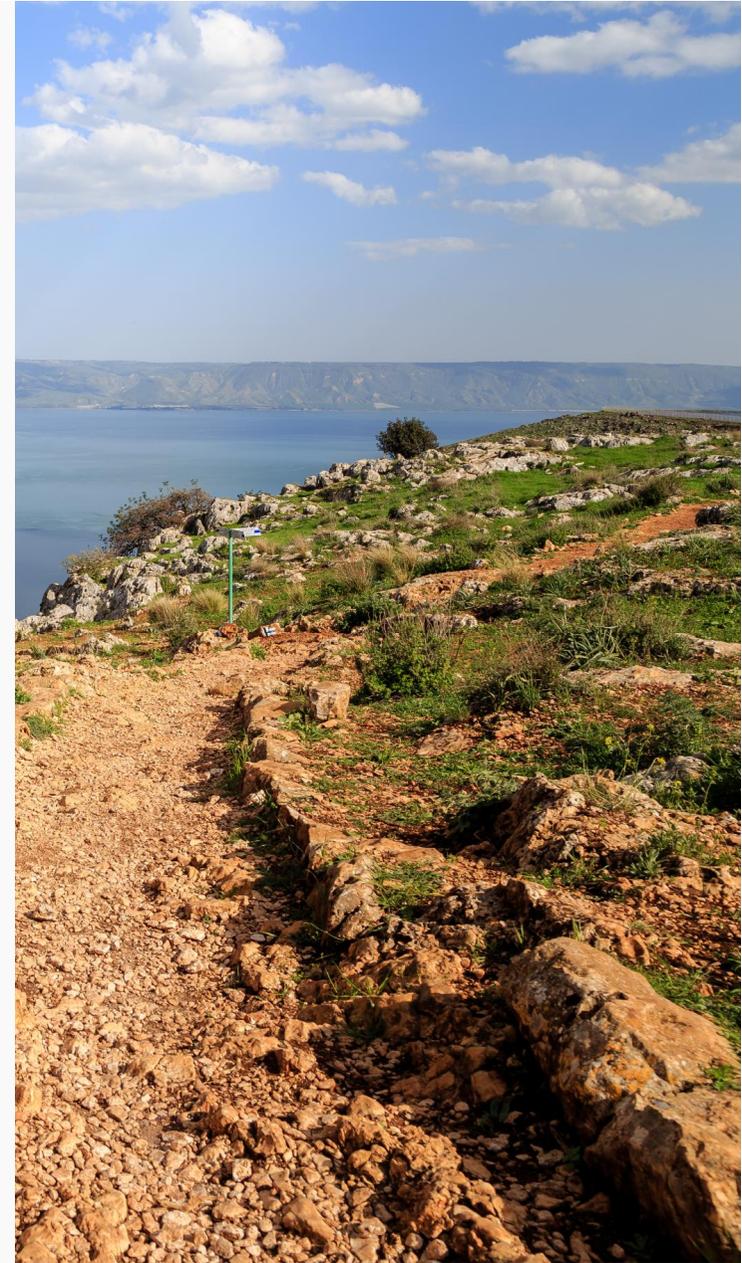
本編 メシアの宣教 マタイ9:35

それからイエスは、すべての町や村を巡って、会堂で教え、御国の福音*を宣べ伝え、あらゆる病気、あらゆるわずらいを癒やされた。

*この時点では、イエスを、神の国をもたらすメシアとして信じること

「時が満ち、神の国が近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。マルコ1:15」

**イスラエルの誰にも
言い逃れの余地はない!!**



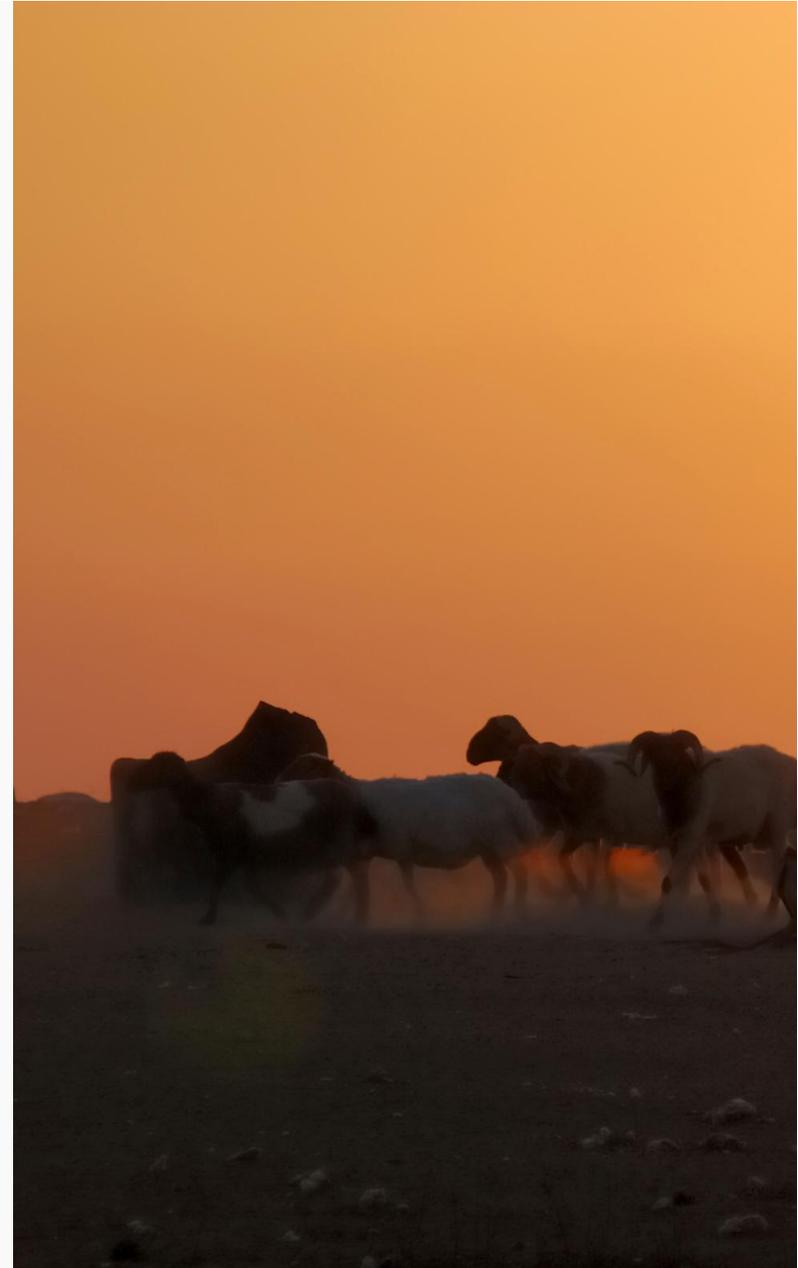
本編 羊飼いのいない羊の群れ 9:36

また、群衆を見て深くあわれまれました。彼らが羊飼いのいない羊の群れ*のように、弱り果てて倒れていたからである。

*神の民イスラエルには、最悪の状態

「【主】の会衆を、羊飼いのいない羊の群れのようにしないでください。民 27:17」

「私は全イスラエルが山々に散らされているのを見た。まるで、羊飼いのいない羊の群れのように。Ⅰ列王 22:17」



本編 収穫期 マタイ9:37～38

そこでイエスは弟子たちに言われた。
「収穫は多いが、働き手*が少ない。

だから、収穫の主に、ご自分の収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。」

*エルガテス…労働者(Laborer)

■祈るべきは、福音宣教の労働者を求めること。→^{レイバー}信仰者は労働者



教会は、福音宣教のための労働者集団!!



IV. まとめと適用

神の恵みの派遣労働者として

ガリラヤ湖畔

なぜ沈黙を求められたのか？

「イエスは彼らに厳しく命じて、『**だれにも知られないように気をつけなさい**』と言われた。しかし、彼らは出て行って、その地方全体にイエスのことを言い広めた。マタイ9:30~31」

「イエスは彼に言われた。『**だれにも話さないように気をつけなさい**。ただ行って自分を祭司に見せなさい。』マタイ8:4」

■ 逆の命令も!! ガダラ(ゲラサ)人の癒し ルカ 8:39

「あなたの家に帰って、神があなたにしてくださったことを**すべて、話して聞かせなさい**。」それで彼は立ち去って、イエスが自分にしてくださったことをすべて、町中に言い広めた。

マタイ福音書によるメシアの生涯 (時系列より内容重視)

	章	時代	おもな内容
出生	1~2	誕生	エレミヤの召命
大衆伝道 (公開)	3~4	宣教の開始	バプテスマ、悪魔の誘惑、ガリラヤへ
	5~9	宣教	山上の説教(5~7)、 メシア的奇跡(8~9)
	10~12	衝突	12弟子の派遣、 ベルゼブル論争
	13~20	弟子訓練	たとえ、信仰告白、山上の変容
	21~25	最後の論争	エルサレム神殿での最終論争
弟子訓練 (限定)	26~27	受難	最後の晩餐、裁判、十字架と葬り
	28	復活	復活、弟子たちへの最後の命令

メシアによる癒やし 8～9章

8章

- ① ツアラアト患者の癒し
- ② 百人隊長のしもべの癒やし(異邦人)
- ③ ペテロの姑の癒やし
- ④ 悪霊につかれた人々の癒やし
- ⑤ 悪霊につかれたガダラ人の癒し(異邦人)

話すな

話せ

9章

- ① 中風の人癒し
- ② 長血の女癒し
- ③ 会堂司の娘の蘇生
- ④ 二人の盲人癒し
- ⑤ 悪霊につかれた口のきけない人の癒し

話すな

なぜ沈黙を求められたのか？

- メシアの奇跡について「話すな」 → イスラエルに対して
- よみに墜ちたラザロへのアブラハムの言葉 ルカ16:29,31
『彼らには**モーセと預言者**がいる。その言うことを聞くがよい』
モーセと預言者たちに耳を傾けないのなら、たとえ、だれかが死人の中から生き返っても、彼らは聞き入れはしない』
- イスラエルは、律法と預言書(旧約聖書)と照らし合わせて、イエスの奇跡から、メシアと判断し、信じることができる。

「知っている」という 責任の重さ

- 聖書から、イエスをメシアと判断できたはずなのに、悪霊の力による奇跡だと、拒絶していくイスラエル。
- 分かっていたのに拒んだ、その責任が重く問われる。
- この時代に知るべき神の啓示は、すべて聖書にある。聖書を学ぶほど、私たちの責任も増している。

正しく聖書を学んでいる？ その責任を果たしている？

最も激しい霊的戦場とは？

■ 連続講解説教をやる人は、なぜ、少ないのか？

→ 説教者にも聴衆にも、**忍耐(成長)**が求められる。

→ 何より、**霊的戦いが激化**する!!

■ 聖書を、文脈に沿い、神の意図に従い、

そのまま語り、そのまま理解。

最も激しい戦いが!!

個々人にも訪れる 避けがたい戦い

- 聖書を主の意図通りに正しく学び、深めていくなら、一人一人に、否応なしに突きつけられる戦いがある。
- 身近な関係性における課題、自分自身の問題…、手に負えずに避けてきた問題を目の前に突きつけられる。
- 自分では解決できないからこそ、蓋をしてきた問題。打ち砕かれて、主に委ね、主に従い歩むしかない。

神からの逃亡者

- 聖書と向き合わず、自分の課題から目をそらす指導者は、集う会衆の目をも、主から逸らそうとするだろう。
- 教理的逸脱を引き起こすのは、主の前からの逃亡者。その人は、その群れは、何から逃げているのか？
- 最初の殺人者カインは、主の前から逃げ去った。最初の罪人アダムはしかし、悔い改めて立ち返った。

★ 神の恵みの派遣労働者として ★

■ 打ち砕かれるほどに、心は耕され、恵みはしみわたる。
砕かれ切ったペテロを、主は宣教の最前線に立たせた。

■ 私たちも、砕かれるほどに用いられていくと心得よう。
手放すこと、失うことを恐れるな。

主が約束された恵みは、すべての欠損を補ってなお、
永遠に有り余る、尽きることのないものなのだから。

ただ御言葉によりすがり、主の使命に遣わされよう

てん とう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください

わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

わたし えいえん かみ しょゆう
私たちは、永遠に神の所有とされました。

みことば まな ふか すく かくしん つよ
御言葉の学びを深め、救いの確信が強められていきますように。

う くだ わたし しゅ めぐ み
打ち砕かれた私たちを、主が恵みで満たしてくださいます。

しゅ やくそく うち へいあん わたし つか
主の約束の内にある平安をもって、私たちを遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」